

現場の課題にお答えします!

前芝武史准教授が
日展・次世代を担う
作家10名に選出

日展110年「現代の日展作家たち—日本の美—NITTEN Artists Today: The Beauty of Japan」の次世代を担う作家10名に選出され、スペシャルインタビュー記事が掲載された。前芝准教授は「大学での研究の一端とその可能性について皆さまに知ってもらう機会となり、うれしく思っています」と語っている。



ふじ わら かつ ひこ
藤原克彦
研究推進課長

学校現場や家庭で研究したり
学び続けたりしたい場合に、
必要な本や論文などの文献を
入手する方法を教えてください。



QUESTION & ANSWER

キャンパストピックス

平成29年度1.17防災未来賞
「ぼうさい甲子園」で
フロンティア賞を受賞

専門職学位課程授業実践開発コース2年の曾川剛志さん作成の「大島小子ども防災マップ」を活用した尼崎市立大島小学校の防災教育の取り組みが、初応募の優れた取り組みを顕彰するフロンティア賞を受賞。「指導いただいた吉水教授との2年間の研究の成果が認められ感無量です」と喜びを語った。



兵庫県北播磨県民局と
連携協定を締結

10月13日、兵教大と兵庫県北播磨県民局は、魅力あふれる地域の形成と発展に向けて、相互の連携協力に関する協定を締結した。今後、地域ビジョンや地域イベント企画への学生や教員の参画、地域資源の活用に関する研究等の連携事業などにより、地域の課題解決や活性化に寄与することが期待される。



まず、本学附属図書館は一般の方にも開放しており、本や雑誌の閲覧、館内でのコピーの他、図書館利用者証の交付(発行手数料510円)を受けた方には一部の制限資料を除き貸し出しすることができます。さて、一般的な本、郷土資料などは公共図書館へ行くのが定石ですが、専門書や学術雑誌なら大学図書館を訪ねてみましょう。ほとんどの大学が一般開放しています。本の所蔵先を調べる無料のインターネットサイトには、「カール」[C.N.I. Books]「国立国会図書館オンライン」などがあり、訪問の前

に所蔵を調べられます。そして、近隣に所蔵が無い本でも、諦めずに近くの公共図書館で相談してみてください。別の図書館から取り寄せてくれることがあります(有料の場合あり)。雑誌論文は、国会図書館の遠隔複写サービスがあります。同館のウェブページから利用者登録(無料)すれば、検索した中から必要な論文のコピーを自宅に郵送してくれます(有料)。

また近年、インターネット上で学術情報の無料公開が進みつつあり、国内の論文を集録した[C.N.I. Articles]では論文情報を検索し、一部は本文を読むことができます。この他、「JALRO」では各大学の教員等の研究成果を、また「J-STAGE」では学協会が出版した論文を、自宅で検索し本文を読むことができます(例外あり)。その他、政府統計の総合ポータル「e-Stat」、海外文献検索の「ERIC」(教育学)、「PubMed」(医学)等も無料ながら充実しています。以上、代表的なものを紹介しましたが、文献の種類や分野などによって検索対象はさまざまです。文献探索・入手に関する不明な点は図書館員にいつでも相談できるので、ぜひお近くの図書館を活用してください。